

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[8]2-クロロニトロベンゼン	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A["水質試料 1,000mL"] --> B["振とう抽出 塩化ナトリウム 30g ジクロロメタン 100mL (1回目)、50mL (2回目)"] B --> C["脱水 無水硫酸ナトリウム"] C --> D["濃縮 ロータリーエバポレータ 窒素パージ 2mLまで"] D --> E["転溶・濃縮^{注1} ヘキサン 50mL ロータリーエバポレータ 窒素パージ 2mLまで"] E --> F["カラムクリーンアップ^{注1 注2} 5%含水フロジール 5g 洗浄：ヘキサン 50mL 溶出：10%ジクロロメタン/ヘキサン 50mL"] F --> G["濃縮^{注1} ロータリーエバポレータ 窒素パージ 1mLまで"] G --> H["定容 ヘキサン 1mL"] H --> I["GC/MS-SIM"] J["内標準添加 p-クロロニトロベンゼン-d₄ 1mg/L 50μL"] --> G </pre> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。 1:ヘキサンによる転溶・濃縮とそれに続くカラムクリーンアップ、濃縮は行わなかった。また、測定機器としてMSはJMS-K9、カラムはDB-17(30m×0.25mm、0.5μm)を使用した。 2:カラムクリーンアップを省略した。</p>	<p><分析原理> GC/MS-SIM</p> <p><検出下限値> 【水質】(ng/L) [8] 2.3</p> <p><分析条件> 機器 GC : HP 6890 MS : HP 5973 MSD^{注1} カラム BPX35^{注1} 30m×0.25mm、0.25μm^{注1}</p>
「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠		